

技術提案書作成要領

1 総括

(1) 技術提案書（様式第3号）について

- 添付書類を添えて、原本1部及び副本8部を提出すること。
- 共同企業体の場合は、技術提案書（様式第3号）の「商号又は名称」に共同企業体の名称を記入し、共同企業体の代表者及び構成員の全てについて、「所在地」、「商号又は名称」、「代表者職氏名」、「提案責任者・担当者」を別紙（様式は問わない。）に記入して提出すること。

(2) 添付書類の提案内容（別紙）について

- 「主要業務」とは、日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）から2026特別シーズンに係るJ1クラブライセンスを交付されているチームが使用又は使用予定のスタジアムの新設又は改修に係る調査業務又は計画策定業務に過去15年度（平成23年度～令和7年度）以内において元請として参画し、全てを誠実に履行した実績を有している業務とする。
- 「類似業務」とは、主に過去2年度（令和6～7年度）におけるスタジアム又はアリーナ（規模、種類等は問わない。）の整備に係る調査業務又は計画策定業務とする。
- 簡潔で分かりやすい書類の作成に努めること。
- 文字サイズは、10.5ポイント以上とすること。
- A4判、両面のカラー印刷で多くても30ページ（用紙15枚）程度で作成すること。なお、図・表、写真等を使用している場合も同様である。
- 図・表、写真等を使用して作成してもよいが、第三者が権利を有するものを使用する場合には、著作権、肖像権等に厳重な注意を払い、当該使用に関する費用の負担を含む一切の手続を提案者において行うこと。
- 文献等を引用する際には、出典を明示すること。
- 様式で示している項目・内容を踏まえていれば、作成するソフトウェアについては問わない。

2 添付書類について

(1) 提案内容（別紙）について

ア 「1 実施方針等」について

- （1）及び（2）については、全国及び県内の動向を踏まえ記入すること。（参考資料：「サッカースタジアムについて」・「令和7年11月以降における岡山県議会での質問及び答弁」）

イ 「2 実施体制」について

- 「主要業務の実績」については、入札参加資格確認申請書（様式第1号）に記入した業務は必ず記入すること。
- 「類似業務の実績」については、2件以上の実績がある場合は2件以上について記入すること。なお、記入するにあたっては元請での実績を優先とし、元請での実績がない場合は受注区分を問わない。

ウ 「3 業務に係る経験・能力」について

- 「配置予定職員」については、「実施体制」の「業務全体の実施体制」に記入されている全ての職員について記入すること。
- 「業務分担」については、協力会社との業務の分担がある場合は記入すること。

エ 「4 アピールポイント」について

- 本業務を遂行するに当たり、必要と思われる業務の提案や追加できる体制等について、独自で提案できることを記入すること。

(2) 見積書について

- 様式は問わないが、本業務の遂行に要する経費について記入すること。
- 見積書の宛名は、「岡山県知事 伊原木 隆太」とすること。
- 見積金額には、消費税額及び地方消費税の額を明記すること。
- 見積りの内容、内訳など詳細が確認できるものであること。
- 見積年月日（令和8年4月1日から技術提案書（様式第3号）を提出する日までで、見積りをした年月日）が記入されていること。
- 見積者の所在地、商号又は名称及び代表者の職・氏名が記入されていること。なお、共同企業体については、その代表者1者について、必要事項を記入すること。
- 代表者の押印（※）があること。
※代表者の押印は、代表者の職・氏名等とは別に、発行責任者（*1）及び担当者（*2）の職・氏名及び連絡先（電話番号）の記入がある場合に省略することができる。なお、発行責任者及び担当者は、同一人物でも可である。
*1 発行責任者とは、代表取締役、支店長、営業所長など見積書の発行するに当たり責任を有する者である。
*2 担当者とは、本取引に関する事務を担当する者である。

<参照>

- ・見積書への押印省略に係る詳細は、県ホームページ（<https://www.pref.okayama.jp/page/768883.html>）を参照すること。

(3) 会社の概要が分かる資料（パンフレット等）について

- 会社案内のパンフレットなど既存の資料で可であるので、会社の概要が分かる資料を提出すること。
- 共同企業体については、全ての構成員に係る資料を提出すること。

(4) 別紙の「主要業務の実績」に記入している業務の内容が判断できる資料（仕様書等）について

- 別紙の「2 実施体制」の「(2) 主要業務の実績」に記入する業務の内容が判断できる資料（仕様書等）を提出すること。

サッカースタジアムについて

サッカースタジアムについて、協議体の設置を見据え、幅広い関係者と意見交換を行っており、その概要を報告する。

1 期 間

令和7年12月24日から令和8年2月末を目途

2 意見交換先（2月6日現在）

スポーツ団体、経済団体、自治体、学識経験者など27機関35名

3 主な意見

項目	内容
スタジアム	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少の中、本当にスタジアムが必要なのか、どのような機能を持たせるのかという議論が不可欠である。 ・スタジアム単独で黒字化、独立採算は難しい。地域を盛り上げるものとして、公共性を見出す必要があるのではないか。 ・試合はスタジアムで見ると臨場感が全然違う。サッカーを観るという視点で捉えると、現スタジアム（JEF晴れの国スタジアム）は少し違うと思う。 ・地域間競争に勝つためのツールとしてスタジアムをつくるということであれば理解できる。 ・スタジアム整備は競技力向上や地域振興につながる。 ・地域の魅力、都市基盤として必要かと思う。 ・他の競技が共有できる施設が望ましい。 ・スタジアムの中の部分はスポーツの使用となるが、スタンド下の部分をどう活用するか考える必要がある。 ・病院やショッピングモール、会議室、教育など、人が集まる仕掛けづくりは必要。 ・現スタジアムの活用、増設や設備・機能強化は考えられないのか。
検討の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・協議体で議論することや、スケジュールを明確にしてほしい。 ・スタジアム整備のメリット、デメリットを整理し、時間をかけてじっくり考えないといけない。 ・検討結果がこうなっただけでは納得感が得られにくい。丁寧な対話をし、オープンな場で議論していくことが必要。 ・タウンミーティングを県北、県南で行い、対話をしていくことが大事ではないか。

項 目	内 容
県の関わり方	<ul style="list-style-type: none"> ・スタジアムを整備するのかもしれないのかを早く決めてほしい。 ・できるできないの判断がいつまでにされるのかを明確にしてほしい。プロセスを大事にする前提の中で、明確な期日を表明してほしい。 ・スピード感が必要であり、民間整備がよい。民間が整備するのに県が整備費を出すのがいいのではないか。
立地	<ul style="list-style-type: none"> ・総合グラウンドにスタジアムをつくる話を聞くが、岡山駅西口エリアの活性化と併せて考えてほしい。 ・全国のスタジアムに対しても、総合グラウンドの優位性は非常に高い。 ・アリーナとスタジアムは近くにあった方がよい。アリーナと相乗効果をつくることができ、いろいろな種目に触れる場をつくれる。 ・新幹線のぞみ駅から歩いて行けるところがいい。
地域振興等	<ul style="list-style-type: none"> ・ファジアーノの試合日にはホテルが取りにくい状況と聞く。 ・数字はないが、肌感としては盛り上がりを感じており、プロスポーツが県内でしっかり活動することにより、他のスポーツにも好影響が出ている。 ・人口減少の中で、地方がどう人を惹きつけていくかが必要ではないか。 ・若者が岡山に留まる理由が少なすぎる。岡山に留まるための魅力がたくさんいる。まちづくりの一環で若い人が住みたいまちにすべきで、採算面だけではないだろう。 ・昨年度、多くの観客が県外から来て、観光地を回っていた。いろんなところに経済効果があり、岡山の魅力を高められるように発信していければと思う。 ・経済、文化、安全安心の面で誇れる地域にしていく必要がある。

令和7年11月以降における岡山県議会での質問及び答弁

○令和7年12月2日 岡山県議会11月定例会 代表質問

(自民党 江本議員)

ファジアーノ岡山はJ1残留を決め、大きな盛り上がりを見せている。新スタジアムの整備を求める50万筆を超える署名が集まり、我が党としては、県民の期待の大きさが現れたものと重く受け止めているが、署名に対する思いはどうか。多くの課題や様々な意見があるが、サッカースタジアムの検討を始めるべきだがいかがか、併せて伺いたい。

(知事)

新スタジアムの整備を求める署名活動において、6月下旬から9月までの約3か月間で、50万筆を超える署名が集まり、10月に要望書とともに受け取り、県民の期待の大きさを感じたところであります。

署名活動により県民の皆様の盛り上がりが見えたと受け止めており、また、ホームゲームでは、全ての試合で岡山側応援エリアのチケットが前売りで完売している現状等も踏まえ、県としても、どのように進めるかを真剣に検討していく必要があると考えております。

サッカースタジアムの整備にあたっては、検討すべき多くの事項があることから、今後、多角的な視点で様々な資料の収集、調査、分析や、協議体の設置等も見据えた、幅広い関係者との協議を始めてまいりたいと存じます。

○令和7年12月2日 岡山県議会11月定例会 代表質問

(民主・県民 高橋議員)

ファジアーノ岡山のホームゲームのチケットは完売し、観戦できない県民が続出する中、新スタジアム建設を求める署名は50万筆を超え、県民の機運の高まりを示しており、具体的な検討に着手すべき時期に来ているのではないかと懸念をもち、協議体を設け、財政・立地・運営の在り方等を総合的に検討するなど、議論の場づくりが必要だが、所見を伺いたい。

(知事)

50万筆を超える署名により、県民の皆様の盛り上がりが見えたと受け止めており、また、試合を観戦したくてもできない状況等も踏まえ、どのように進めるかを検討していく必要があると考えております。

サッカースタジアムの整備にあたっては、検討すべき多くの事項があることから、今後、多角的な視点で様々な資料の収集、調査、分析や、協議体の設置等も見据えた、幅広い関係者との協議を始めてまいりたいと存じます。

○令和7年12月2日 岡山県議会11月定例会 代表質問

(公明党 井出議員)

サッカースタジアム建設を希望する署名が50万筆を超え、知事及び県議会議長に提出された。議会でも特別委員会で視察を行い、他県の状況等を調査してきた。諸課題を解決するための整理とともに、今後の方向性を早急に示すべきだが、どう対応していくのか、伺いたい。

(知事)

50万筆を超える署名により、県民の皆様の盛り上がりが見え、可視化されたと受け止めており、また、試合を観戦したくてもできない状況等も踏まえ、どのように進めるかを検討していく必要があると考えております。

今後、様々な資料の収集、調査、分析や、協議体の設置等も見据えた、幅広い関係者との協議を始めてまいりたいと存じます。

○令和7年12月12日 岡山県議会11月定例会 一般質問

(自民党 渡辺知典議員)

スタジアムの場所は、商用利用や防災機能、国の補助を踏まえると、総合グラウンドの県営野球場の場所しかない。岡山市はアリーナを独自に検討中だが、県と市は、スタジアムとアリーナの複合施設などの可能性を話し合うべきだ。いずれにしても、岡山市の理解と協力がないとスタジアムは実現できないが、所見と覚悟を伺いたい。

(知事)

スタジアムの整備にあたっては、今後、多角的な視点で、様々な資料の収集、調査、分析や、協議体の設置等も見据えた、幅広い関係者との協議を始めることとしたところであり、どのように進めるのか真剣に検討してまいりたいと存じます。

一方、岡山市が整備を進めるアリーナについては、計画地を含め、整備計画がまとめられ、事業化の判断がなされたところであり、進捗が大きく異なっていることから、お話の複合施設については、現実的ではないと考えております。

なお、スタジアムについては、場所や規模、建設コストなど多くの検討すべき事項があることから、今後、クラブのホームタウンである岡山市も含め、幅広い関係者との協議を行ってまいりたいと存じます。

○令和8年2月5日 岡山県議会 予算総括協議会

(自民党 松島議員)

スタジアムの整備に関しては、整備主体や費用、場所など検討すべき課題が多くあるが、県民からは、県の迅速な判断を求める意見が寄せられている。協議体では、様々な立場の方に参加してもらい、丁寧かつスピード感をもって検討を進めるべきだ。今後、協議体での検討をどのように進め、県の方針を決定するのか、所見を伺いたい。

(知事)

協議体の設置を見据え、スポーツ団体や経済団体、学識経験者など、幅広い関係者からご意見をお聞きしておりますが、多種多様な考え方があることから、県が事務局として協議体を立ち上げ、整備の実現可能性について、様々な観点から、議論・検討を行う必要があると認識したところであります。

協議体には、利用者や経済、学術などの各分野から委員にご就任いただき、場所や規模、コスト、建設・運営主体など、多くの項目について検討・整理し、具体的な提案をしていただいた上で、県として、どうすべきかを判断してまいりたいと存じます。

また、来年度のできるだけ早い時期に協議体を設置したいと考えており、年度内に準備的な会合を行うなど、丁寧かつスピード感をもって検討できるよう、引き続き、準備を進めてまいりたいと存じます。

○令和8年2月5日 岡山県議会 予算総括協議会

(民主・県民 鳥井議員)

新スタジアムの整備に向けた関係者との意見交換を踏まえ、どのような問題意識を持っているのか。また、協議体の設置にあたり、どのようなメンバー構成、事務局体制、スケジュールを検討しているのか。さらに協議体で議論する主要な論点はどうか、併せて伺いたい。

(知事)

現在、幅広い関係者からご意見をお聞きしておりますが、多種多様な考え方があることから、県が事務局として協議体を立ち上げ、様々な観点から、議論・検討を行う必要があると認識したところであります。

協議体には、利用者や経済、学術などの各分野から委員にご就任いただき、場所や規模、コスト、建設・運営主体など、多くの項目について検討・整理し、具体的な提案をしていただきたいと思いますと考えております。

また、来年度のできるだけ早い時期に協議体を設置したいと考えており、年度内に準備的な会合を行うなど、スピード感をもって検討できるよう、引き続き、準備を進めてまいりたいと存じます。

(民主・県民 鳥井議員)

協議体では、施設整備の面だけでなく、地域経済の活性化や交流人口の拡大、にぎわいづくりといった効果についても検討するべきだが、どう対応するのか、所見を伺いたい。

(知事)

設置を予定している協議体において、スタジアム整備の実現可能性を議論・検討するため、民間調査会社へ委託し、場所や規模、建設コストなど、整備に関する多くの項目について調査を行いたいと考えております。

協議体では、委員の皆様、それぞれの立場から自由にご発言いただくことを

期待しておりますが、県としては、お話の地域経済の活性化を含む様々な観点から議論が進むよう、必要な資料を適宜提供するなど、しっかり取り組んでまいりたいと存じます。

○令和8年2月27日 岡山県議会2月定例会 代表質問

(公明党 角屋議員)

新スタジアムの整備について、議論や調査を行う予算を計上しており、整備の方向性を示すとしているが、建設の是非を含め、どの段階まで来年度中に方向性を出すのか、決意と併せて伺いたい。

(知事)

協議体において、場所や規模、コストなど多くの項目について検討・整理し、具体的な提案をしていただいた上で、県として判断してまいりたいと考えております。

このため、現時点で期限等は考えておりませんが、必要なプロセスを踏みながら、丁寧かつスピード感をもって取り組んでまいりたいと存じます。

(公明党 角屋議員)

J F E晴れの国スタジアムの増席について、ホーム戦の観戦需要に迅速に対応する措置と受け止めているが、どのような効果を見込み、どのような意義を持つのか。また、将来的なスタジアム整備の議論との関係をどう整理しているのか、併せて所見を伺いたい。

(知事)

ファジアーノ岡山のJ1昇格後、試合を観戦したくてもできない状況が生じており、スポーツ振興の観点から、少しでも改善を図る必要があると考え、増席することとしたものであります。

なお、新スタジアムの議論はこれからであり、整備することになった場合であっても、かなりの年月を要すると見込まれることから、当面の対応として行うものであります。

○令和8年3月11日 岡山県議会2月定例会 一般質問

(自民党 河野議員)

サッカー専用だけでなく、球技、コンサート等も視野に入れた複数のシナリオを並行して整理すべきだ。また、県が関与する以上、公益性・公共性の説明は不可欠で、資金調達や運営主体についても早い段階から協議すべきだ。設置される協議体において、公共性や県全体への波及効果を軸に、サッカー専用や多目的施設も含む複数の選択肢を比較しながら幅広く議論する枠組みを設けるのか、所見を伺いたい。

(知事)

利用者や経済、学術などの各分野から委員にご就任いただき、場所や規模、コストなど多くの項目について検討・整理し、整備の実現可能性等の具体的な提案をしていただいた上で、県として判断してまいりたいと考えております。

委員の皆様には、それぞれの立場から自由に発言いただくことを期待しておりますが、設置に先立ち行った関係者との意見交換において、お話の公共性や県全体への波及効果、スタジアムの機能など、多種多様な意見を伺っているところであり、協議体にはこうした内容も含め、必要な情報や資料等を適宜提供し、幅広い観点で議論が進むよう、しっかりと取り組んでまいりたいと存じます。